※令和４年度以降入学生用

学校番号	1013

令和８年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	ペン字講座	単位数	２単位	年次	３年後期
使用教科書							
副教材等	自主教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

筆ペンとボールペンを用い、楷書及び行書の基本点画や字形の取り方を学習することで、くらしに様々な書を生かせるようにします。

・楷書及び行書の基本的な点画や字形の取り方について学習します。
（横画、縦画、払い、曲がり、反り、点などの書き方から始めます。）
・くらしに生かせる書作品を作成します。
（手紙・祝儀袋・年賀状・ポスター等）
・作品を鑑賞することで、幅広い感性、鑑賞力を身に付けます。

2　学習の到達目標

・書写能力を向上させるとともに、目的や用途に即した効果的な表現の技術を身に付ける。
・意図に基づいた表現について構想し工夫する。
・生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わう。
・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。 書写能力を向上させるとともに、目的や用途に即した効果的な表現の技能を身に付けている。	意図に基づいた表現について構想し工夫している。 生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。	主体的に幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 主体的に幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期前半	書写・書道の基本	・書く時の姿勢 ・筆ペン及びボールペンの持ち方、構え方 ・基本的な点画の書き方についての学習 （横画、縦画、払い、曲がり、反り、点）	a：ペン字に関する様々な書の表現と用筆･運筆との関わりについて理解している。 b：意図に基づいた表現について構想し工夫している。 c：主体的に幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	観察 提出作品	観察 ワークシート	観察 ワークシート
	楷書・行書・ひらがな・カタカナの書	・楷書及び行書の基本的な書き方についての学習 ・名前を楷書及び行書で書く。 ・文字のバランスの整え方についての学習 ・ひらがな及びカタカナの書き方についての学習	a：ペン字に関する様々な書の表現と用筆･運筆との関わりについて理解している。 b：意図に基づいた表現について構想し工夫している。 c：主体的に幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	観察 提出作品	観察 ワークシート	観察 ワークシート
後期後半	生活の中の書①	・手紙の書き方 ・宛名の書き方 ・年賀状の書き方	a：ペン字に関する様々な書の表現と用筆･運筆との関わりについて理解している。 b：意図に基づいた表現について構想し工夫している。 c：主体的に幅広い表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	観察 提出作品	観察 ワークシート	観察 ワークシート
	生活の中の書②	・ポスターの書き方 ・賞状の書き方	a：ペン字に関する様々な書の表現と用筆･運筆との関わりについて理解している。 b：意図に基づいた表現について構想し工夫している。 c：主体的に幅広い表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	観察 提出作品	観察 ワークシート	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度